

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	道路維持修繕事業			
予算科目	8 款 2 項 2 目			
総合計画での位置付け	都市基盤の整備 道路・交通基盤の整備			
所管課情報	担当課: 土木管理課		電話番号(内線): 593	
記入者情報	所属長: 木曾 信之		担当責任者: 出本 宗一	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	利用者			
根拠法令等	道路法			
事業の目的	市道の維持修繕を行い安全性・利便性の向上を図る。			
事業の内容	舗装補修・道路構造物等の修繕・法面保護			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	道路施設を常に良好な状態にするため、日頃のパトロールを実施し、早期に危険箇所を復旧する。			
改善策の 具体的 取り組み	事業実施に地域間格差が生じないように、十分な現地調査等に基づく優先順位により、適正な管理に努める。			

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	85,366	112,684	35,531	98,357
	人件費	15,456	15,112	2,386	15,112
	合計	0	127,796	37,917	113,469
人件費 内訳	人工数	1.90	1.90	0.30	1.90
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	15,456	15,112	2,386	15,112
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	100,822	127,796	37,917	113,469

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
作業員賃金	千円	7640	6785	4085	6875
工事費	千円	68327	82990	29686	71889
原材料	千円	2272	1518	364	1227

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	80,000	80,000	80,000	0	0	240,000

成果指標				
成果指標	成果を指標化するのは困難である。			
指標設定の考え方	請負工事件数を実績とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	30件	34件	0	0
実 績	23件	30件	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	パトロール強化や関係者に情報収集方法のお願いを求め、路面の陥没や路肩の崩壊等は直接事故に繋がることから、修繕等早期対応に努める。また、事業実施においては、偏らず全地域の施工状況も確認しながら地域格差の生じない対応も必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	道路災害が発生した際には、必ず災害査定官、立会管に日常のパトロール日誌の提出を求められる。パトロールの強化をして危険箇所を早く察知して予防、通行制限を行い事故に繋がらないよう努めなければならない。最小限の費用で最大限の効果ができるように職員の即行動、即現場、即対応を心がける。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	